

# あ か さ き

## いのちを見つめる日

6月1日(月)「いのちを見つめる日」です。

いのちを大切にするための4つの約束を子どもたちに提示し、相手(周りの人や友だち)を大切にすることが「いのちを大切にする」ことにつながるということを伝えたいと思い、下のような話をしました。

今日、6月1日。佐世保市では、毎年、この日を「いのちを見つめる日」と名付けて、いのちの大切さをみんなで考える日としています。

いのちは、みんなが持っているものですが、たった一つしかありません。今年の4月22日からの臨時休業も、コロナウイルスからみなさんのいのちを守るための特別なお休みでしたね。

いのちはなくなってしまうたら、もう元に戻すことはできません。ゲームとは違いますからね。やり直すことはできないのです。だからこそ、いのちは大切にしないとイケないのですよね。

今日は、ここで校長先生と「いのちを守るための、いのちを大切にするための4つの約束」をしてほしいと思います。

1つ目は、自分のいのちを大切にすることです。

ですから、例えば、道路に飛び出したり、廊下を走ったりなどの、危ないことはしないようにしてください。

2つ目は、友だちや周りの人のいのちを大切にすることです。

いやな人だなあ、ゴツン! では、困ります。

3つ目は、小さな植物や動物のいのちも大切にすることです。

自分よりも弱い生きものです。守ってあげてください。

そして、最後、4つ目は、周りの人へやさしい言葉や思いやりのある行動をするということです。赤崎小学校では、「ふわふわことば」や「あかさきあいさつ」に取り組んでいると聞いています。頑張っていていきましょうね。

今話した中でも、特に、

2つ目の「身の回りの人や友だちのいのちも大切にすることや

4つ目の「優しいことば使い、思いやりのある行動をする」ためには、

まずは、「自分の気持ちを伝える」ことが大切です。でも、これだけでは足りません。自分の気持ちだけ伝えても相手の気持ちが分からないからです。

ですから、次に「相手の気持ちを受け取る」こと。これが大切になります。このどちらがなくても困ります。つまり、この二つをそろって行うこと。「気持ちをやり取りする」ことが、大切です。

このように気もちのやり取りをすることを少し難しいことばで「コミュニケーション」といいます。さて、この「コミュニケーション」、「こころのキャッチボール」をするために、大切にしてほしい4つの手立て、方法があります。

まず、「相手を見ること」。相手を見ないで話をしたり、話を聞いたりしても、自分の気持ちはしっかりと伝わりません。相手の気もちも分かりません。

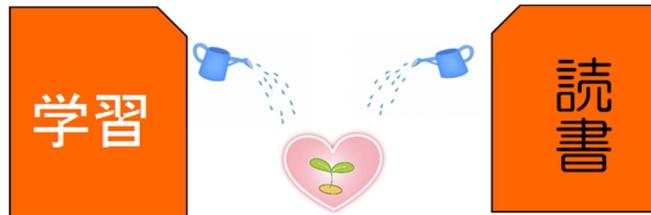
次に、「しっかりと声を出すこと」  
自分は伝えたいつもりでも、しっかりと声に出さなければ自分の気持ちは届きません。

3番目は、「しっかりと声を聞くこと」  
ちゃんと聞いているつもりでも、相手が言っていることを分かってもらうと思っていなければ、相手の気持ちは分かりません。

そして、最後は「ことばを大切にすること」です。  
相手のことを考えて、分かりやすいことばで、心が温かくなるようなことばを使うこと。これがことばを大切にすることです。

また、ことばを大切にするためには、ことばを知っておかなければいけません。そのために、学校での勉強をしっかりとしましょう。学習することで頭に栄養をあげましょう。

そして、たくさん読書をしましょう。本を読むことで、心に栄養をあげましょう。さあ、この6月。しっかりと4つの約束を守り、いのちを大切にしていきましょう。



最後に、先生が好きな詩のひとつを紹介して、終わりたいと思います。

### 「ひとつのことば」

ひとつのことばで けんかして  
ひとつのことばで 仲なおり  
ひとつのことばで 笑い合い  
ひとつのことばで 泣かされる  
ひとつのことばは それぞれに  
ひとつの いのちを もっている